

平成26年度 英語授業力向上研修（高） 事後アンケート＜集計＞

1 研修後、「英語で行うことを基本とした授業」を行うために、具体的にどのようなことを実践していますか。

- ・オーラルイントロダクションで、教科書に出てくるフレーズとそれを易しくパラフレーズした表現を合わせて言うようにしました。
- ・日本語を介さずに英語（単語・文章）の意味を理解できるよう絵や音声を用いた活動を行いました。
- ・ペアで、それぞれが異なる内容の英語のやりとりをするタスクを含むハンドアウトを作成して、実践しました。
- ・「話す」活動（2分間トーク、ミニディベート）や、ペアワークやグループワークを中心とした活動（英語カルタや音読筆写）を工夫して実践しました。
- ・キーワードを与えて、本文の要約を書かせたり、それを口頭で言わせたりする活動を行いました。
- ・授業中の活動を評価するために、定期テストの出題形式（単語単独→フレーズでの出題、英問英答の追加、自己表現問題など）を見直しました。

※その際、どのようなことに留意していますか。また、どのような工夫をしていますか。

- ・生徒が英語を用いてやりとりをする必要のある活動、また、読む、書く、聞く、話すの4技能をバランスよく取り込んだ活動を工夫するようにしています。
- ・ペアリーディングで、発音とアクセントにも留意し、互いに読み合うことで、正しい読み方を身につけるように促しています。
- ・間違いを恐れない態度の育成のために、話そうとする態度を褒めるようにしています。また、間違えても構わないという雰囲気作りや「やってみよう」と思わせるような声かけを心がけています。
- ・簡単な、決まった表現を多く使うようにし、英語での表現にできるだけ耳を慣れさせるようにしています。
- ・自信を持って英語を口に出せる生徒が少ないため、ハードルを上げすぎないように、単語のクイック・レスポンス、フレーズ・リプロダクション、パターン・プラクティス、リテリングといった段階的にハードルを上げるように授業を組み立てるようにしています。

※実践の成果、生徒の変容等をお書きください。

- ・もともとコミュニケーション活動が好きな生徒はさらに活発に活動するようになり、英語が苦手な生徒も楽しそうに取り組むようになりました。
- ・自分の考えや意見を英語で表現することに対して、抵抗感をもつ生徒が減りました。特に「書く」活動やテストに対してよく取り組むようになりました。
- ・フラッシュカードを用いた発音練習では、しっかりと顔をあげて発音したり、音読やディクテーション、暗唱などの活動にも積極的に取り組む生徒が増えてきました。
- ・友人の発表に刺激を受け、楽しく活発に発表する生徒が増えました。
- ・授業を聞いてノートに写すだけでなく、発表や音声活動を増やすことで、授業に対して意欲的になりました。
- ・活動に対して積極的になり、楽しんで活動に取り組む様子が見られました。また、活動の成果として、センター試験のリスニングで前年度と比べると平均点が3点ほど上がりました。
- ・研修に参加する以前は、CDによるディクテーションのみを行っていました。しかし、研修で得たアイデアを活かし、ペアワークでのディクテーションを実践した結果、生徒たちは自分の読み方では通じない、又は相手の読み方では通じないという経験を経験することができ、お互いに教え合い、指摘し合うようになりました。相手とのやり取りがうまくいかないことが、よりよい発音や話し方を身に付けたいという気持ちにつながっています。

2 授業に関して、現在あなたが感じている課題は何ですか。

- ・教師側の英語の使用率を上げることと、従来の文構造の説明とのバランスに課題を感じています。
- ・いかにして教師側の説明を減らせるか（日本語の適切な使用場面）という点です。また、授業パターンを再構築すること、生徒が目指すものと教師の目標を一体化させることが課題です。
- ・生徒の内容理解を助けるためのワークシートの作成です。また、生徒のスピーキングやライティング活動の評価をどうするかが課題です。
- ・教科書だけでは飽きる生徒が多く、どうしたら英語に興味・関心を持たせるかが現在の課題です。

3 研修内容を伝えたり、授業を公開したりするなど、研修の内容を他の教員に広めるために、どのような取組をしましたか。

- ・研修内容のエッセンスをまとめたプリントを英語科全員に配布し、英語科会議で話題として取り上げ、問題提起をしました。
- ・11月に全日制の英語科の先生方に授業を見学していただき、互いの学校の英語教育事情について情報交換の場を設けることができました。
- ・研修の内容を伝えたり、資料をコピーし、英語での授業についてどのレベルまでが妥当か等話し合いました。また、そういう話題が以前に比べ増えました。
- ・研修で他校の先生方と共有した資料を紹介したり、研修後に取り入れた活動について、他の先生方に意見を求めたりして、今までの授業に少しずつ新しい指導を入れていこうという意識が教科内に広がるような取り組みをしています。